

製品名: PROX1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87781**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:83 kDa; Observed MW:85 kDa

抗原情報

遺伝子名	PROX1
別名	Homeobox prospero-like protein PROX1; PROX-1
遺伝子 ID	5629
SwissProt ID	Q92786
免疫原	ヒト PROX1 の組み換えタンパク質

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホメオボックス転写因子ファミリーのメンバーです。このファミリーのメンバー

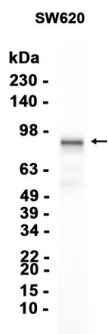
は、DNA と RNA に結合する 60 アミノ酸のヘリックス・ターン・ヘリックス構造からなるホメオボックスドメインを有しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は脊椎動物全体で保存されており、発生において重要な役割を果たす可能性があります。このタンパク質のレベル変化は、結腸がん、脳がん、血液がん、乳房がん、膵臓がん、肝臓がん、食道がんなど、様々な臓器のがんにおいて報告されています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 7 月]

研究分野

-

画像データ

PROX1 ウサギモノクローナル抗体を 1:100 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンプロット分析を行いました。



AMRe87781 を 1:1000 で使用して SW620 細胞抽出物をウェスタンプロット分析しました。